

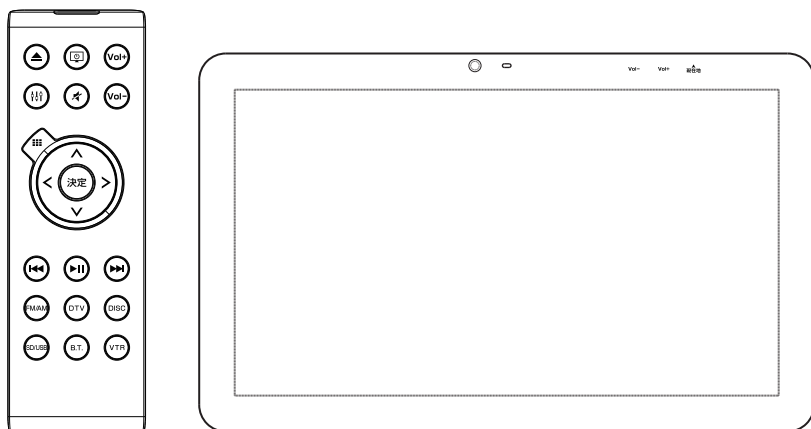
azur

フルセグチューナー内蔵10.1インチメモリーナビゲーション

ANX-Z1



取扱説明書



保証書別添付

このたびは、フルセグチューナー内蔵10.1インチメモリーナビゲーションをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

<販売店様>

接続・取り付けが完了しましたら、お客様へ本書をお渡しください。

目次

はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください）	1
■商品構成一覧表	4
■リモコン各部の働き	7
■電池交換方法について	8
■各部の働き	9

操作方法

■基本操作	10
■テレビを観る	15
■ラジオを聴く	18
■Bluetoothを使う	20
■メディアを再生する	29
■SmartLinkについて	40
■オーディオ設定	44
■本体設定	46

付属品の使用方法

■電源・ケーブルの接続方法	54
■本体の設置方法	56
■モニター取り付け説明	57
■フィルムアンテナについて	58
■フィルムアンテナの構成	59
■フィルムアンテナ貼り付け位置について	60
■フィルムアンテナを貼り付ける	61
■アンプホルダーを給電部に貼り付ける	62
■アンテナケーブルを固定する	63
■アンテナ端子を接続する	63
■トラブルシューティング	64
■本機で使用できるメディアとフォーマットについて	68

仕様	69
----	----

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■読んだ使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明します。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明します。（次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する**

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。
(規定容量：15A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない

 **禁止** 運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 **禁止** ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理してください。事故やけがの原因になります。

警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアース車で使用する



DC 12V マイナスアース車専用です。上記以外のお車には使用出来ません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない



煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

禁止

- 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

あやまって、飲み込むおそれがあります。万が一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない



禁止

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う



説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する



被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス⊖端子を外しておく



バッテリーのマイナス⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

注意

本機の通風孔を塞がない



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、買い上げの販売店にご依頼ください。

車載用以外には使用しない



車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

禁止

強い衝撃を与えない



落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

禁止

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない



直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

禁止

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

禁止

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

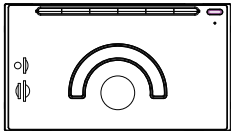
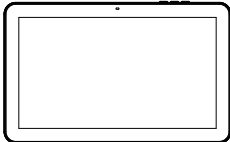
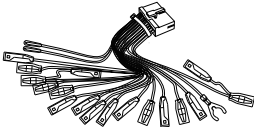
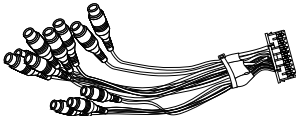
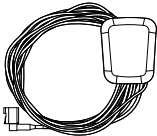
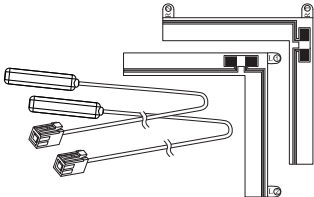
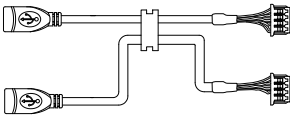


傾いた場所、強い曲面などに取付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

■ 本体 	■ モニター 
■ リモコン 	■ 電源ケーブル 
■ 外部入出力ケーブル 	■ GPSアンテナ 
■ フィルムアンテナセット X2 	■ USBケーブル 

※ USBケーブル/連結ケーブルは本体に直接付属しています（取り外し不可）

※ USBケーブルには、メディア用と充電用のUSBケーブルがあります。

※ 充電用USBケーブルは機器により充電できない場合があります。予めご了承ください。

※ メディア用USBケーブルには、USBカードリーダーを介した接続はできない場合があります。

商品構成一覧表(つづき)

■ 連結ケーブル



■ 地図マイクロSDカード(本体内蔵)



■ ナビゲーション取扱説明書



■ 取扱説明書



■ 保証書



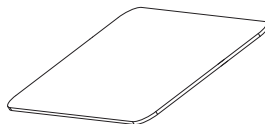
■ 取り付け用ネジ (8本)



■ B-CAS カード



■ GPSアンテナ固定用鉄プレート



商品構成一覧表(つづき)

⚠ 使用のご注意

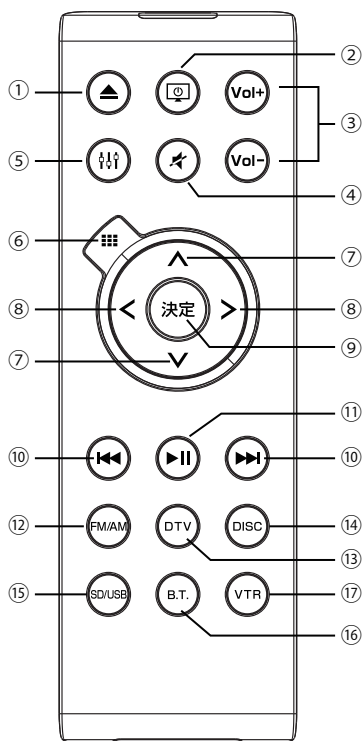
地図専用microSDカードについての注意事項

- 本体に内蔵しているmicroSDカードは地図専用となりますので、メディアとしての使用はできません。また、データの消去は絶対に行わないでください。
- microSDカードは直射日光のあたる場所など、高温になる場所に置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。
- microSDカードの端子に手や金属で触れないでください。故障の原因となることがあります。

モニター反射防止用フィルムについての注意事項

- モニターへの映り込み軽減を防止するため、工場出荷時に反射防止用フィルムがモニター画面に貼られています。車種や環境により、モニター表示の見え方が異なる場合がありますので、ご使用の環境によって剥がしてお使いください。
- 反射防止用フィルムは一度剥がしてしまうと再利用ができなくなりますので、ご注意ください。
※別売の反射防止用フィルムを購入される場合は、販売元へお求めください

リモコン各部の働き



- 1 イジェクトボタン
ディスクを取り出せます。
- 2 液晶OFFボタン
このボタンを押すたびに、液晶のOFF/ONを切り替えます。
- 3 音量+/音量-ボタン
このボタンを押すと、音量がステップに上がり/下がります。
- 4 消音ボタン
このボタンを押すたびに、消音/消音解除を切り替えます。
- 5 EQボタン
このボタンを押すと、EQ画面に入ります。もう一回押すと、前の画面に戻ります。
- 6 MENUボタン
このボタンを押すと、メインメニューへ遷移します。(メインメニュー画面中、無効となります。)
※地図ナビ画面の場合、このボタンを押すと、NAVIメニュー画面へ遷移します。(NAVIメニュー画面中、無効となります。)
- 7 メインメニュー画面でこのボタンを押すと、ハイライトを上/下に移動します。
- 8 メインメニュー画面：ハイライトを左/右に移動します。
ラジオモード：前の/次のプリセット周波数を選択します。

9 決定ボタン

10 前へ/次へ

ラジオモード：短く押すと、周波数ステップが高/低に変化します。長く押すと、周波数を高/低にサーチします。

CD/DVD/USB/SDモード：短く押すと、前の/次のトラックを選択します。長押しすると、トラックを早戻し/早送りします。

Bluetooth音楽モード：前の/次のチャプターを選択します。

11 再生/一時停止

12 このボタンを押すと、ラジオモードに切り替えます。

13 このボタンを押すと、TVモードに切り替えます。

14 このボタンを押すと、ディスクモードに切り替えます。

15 SDソースのみ有効な場合、SDソースに切り替えます。

USBソースのみ有効な場合、USBソースに切り替えます。

SD、USBソースが有効な場合、SD→USB→SD→USBの順番で切り替えます。

16 このボタンを押すと、Bluetoothモードに切り替えます。

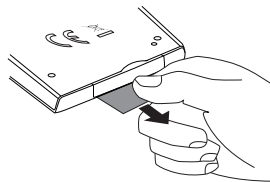
17 このボタンを押すと、VTRモードに切り替えます。

電池交換方法について

リモコンについて

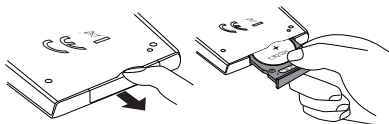
初めてリモコンをご使用になる場合は、リモコン下部に電池の消耗を防ぐための透明の絶縁フィルムが入っておりますので、このフィルムをはずしてからご使用ください。

電池「CR-2025」は通常年間ほど使用できますが、付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が1年以内になる場合があります。この場合は、同じ型名の電池をご購入の上、交換をしてください。

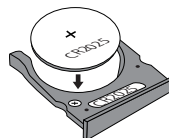


電池交換方法について

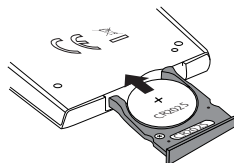
- 1 電池ホルダーを引き出す
ロック部にツメを引っ掛けて引き抜きます。



- 2 電池を交換する
古い電池を取り出して、新しいリチウム電池CR-2025を+（プラス）側を上にして電池ホルダーに入れます。



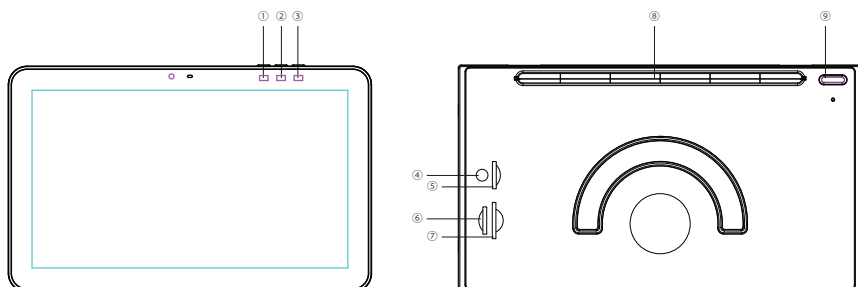
- 3 電池ホルダーを差し込む
右図の方法で電池ホルダーをリモコン本体に差し込みます。



使用方法について

- リモコンの先端部を本機器のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作有効範囲はリモコン受光部が見える、約3メートル以内です。
- リモコン操作で本機器が動作しない場合は、リモコンの電池寿命が考えられます。新しい電池を交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明の向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところに放置しないでください。
- リモコンを高温の場所で保管しないでください。電池の特性により、早く消耗することがあります。

各部の働き



- 1 音量ーボタン
短押しすると、音量が1ステップで下がります。
長押しすると、AVミュートとなります。
- 2 音量＋ボタン
押しと、音量が1ステップで上がります。
- 3 現在地ボタン
短押しすると、現在地画面に切り替えます。
長押しすると、AVメニュー画面に切り替えます。
※画面が現在地画面中である場合、短押しすると、無効です。
※画面がAVメニュー画面である場合、長押しすると、無効です。
※画面がナビ画面中である場合、長押しすると、ナビメニュー画面に切り替えます。
※画面がナビメニュー画面中である場合、長押しすると、無効です。
- 4 フロントAUX入力端子
フロントAUX入力端子です。3.5mmステレオミニジャック対応です。
- 5 MEDIA microSD カード挿入口
SDカードをここに差し込みます。
- 6 MAP microSD カード挿入口
※ 地図データが書き込まれている専用microSD カードが収納されています。
※ 更新作業以外は抜き差しをしないでください。
- 7 B-CAS挿入口
B-CASカードをここに差し込みます。
- 8 ディスク挿入口
ディスク（DVD/CD）の挿入口です。
※ ディスクを挿入する前に、本体上部の運送ネジを取り外してください。
※ 運送ネジが装着されている状態では、ディスクを挿入する事ができません。
- 9 イジェクトボタン
ディスクを取り出せます。

基本操作

電源の ON/OFF

1 電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源がON になります。
エンジンをかけ、本体が通電してオープニング画面が表示され、
メインメニュー、地図またはオーディオ画面などが表示されます。

2 電源を切る

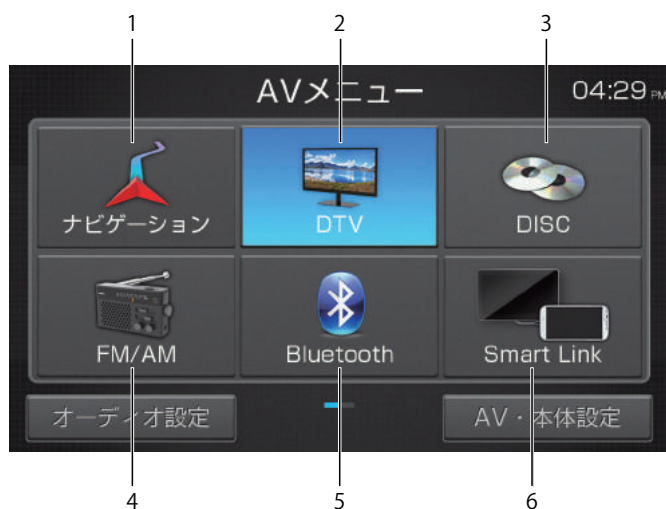
イグニッションキーを「OFF」にすると、電源がOFFになります。

※ 電源を切る時には、音量を最小にしてください。電源ON 時に大音量が出力され、
運転の妨げや聴覚障害などの原因となることがあります。

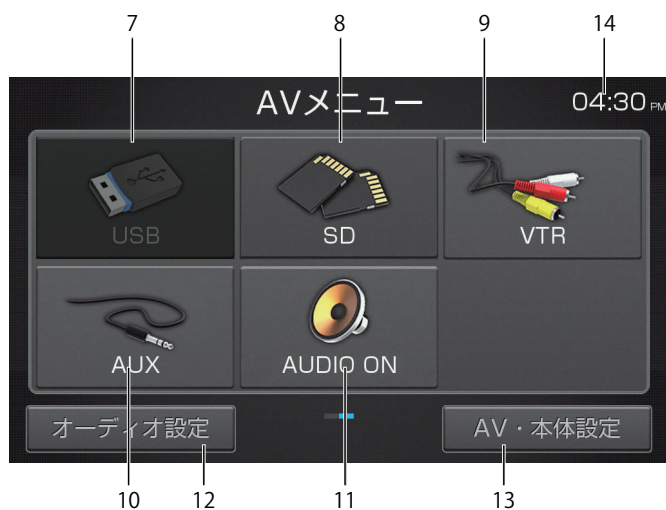
基本操作(つづき)

メインメニュー

メニュー画面1



メニュー画面2



基本操作(つづき)

メインメニュー内のアイコンをタッチすると、タッチしたモード画面が表示されます。

ナビゲーション

■ ナビゲーションモードを表示します。

1



DTV

■ テレビモードを表示します。

2



DISC

■ DISCモードを表示します。
ディスクを入れていない場合、アイコンが暗く、押しても動作しません。

3



FM/AM

■ ラジオモードを表示します。

4



Bluetooth

■ Bluetoothモードを表示します。
アイコンが暗い場合、「AV・本体設定」のシステム設定でBluetoothをオンにしてください。

5



SmartLink

■ SmartLinkモードを表示します。
SmartLink対応のスマートフォンが接続されている場合、SmartLink画面が表示されます。
スマートフォン接続されていない場合は、接続アドバイス画面が表示されるので、画面の指示に従って接続してください。
(詳しい内容はP40を参照してください。)

6



基本操作(つづき)

USB

7

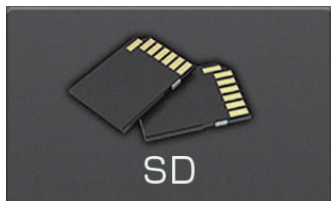
USBモードを表示します。
デバイスと接続していない場合、
アイコンが暗く、押しても動作し
ません。



SD

8

SDモードを表示します。
SDカードが挿入していない場合、ア
イコンが暗く、押しても動作しま
せん。



VTR

9

「VTR」モードを表示します。
「VTR」アイコンをタッチすると、
リア外部入力に接続されているオー
ディオやビデオの画面が表示されま
す。オーディオやビデオの入力信号
がない場合、「映像信号が入力され
ていません」と表示されます。



AUX

10

AUXモードを表示します。



基本操作(つづき)

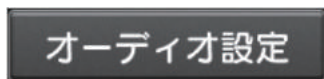
AUDIO ON/OFF

- 11 ■ AVソースの音声出力のON/OFFを切替えます。
AUDIO ON：音声出力されます。
AUDIO OFF：音声出力はミュートされます。
※AUDIO OFFであっても、ナビガイド音声とBluetooth音声はミュートされません。



オーディオ設定

- 12 ■ EQ Balance設定画面に切り替わります。



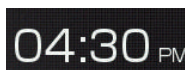
AV・本体設定

- 13 ■ 本機の設定画面に切り替わります。



時刻表示

- 14 ■ 現在の時刻を表示します。



テレビを観る

メインメニューの「DTV」アイコンをタッチすると、TV 画面が表示されます。

TV 信号がない場合、「信号がありません」と表示されます。

※ はじめてご使用になる場合は、必ずチャンネルスキャンをしてください。

テレビ画面の左下の🏠ボタンをタッチして、メインメニューに戻ります。

TV 信号がある場合、テレビ再生中の画面を表示します。再生画面をタッチすると以下の操作バーが表示されます。

※ 無操作にて操作バーは数秒経過すると表示が消えます。

※ DTV映像は、リヤモニター出力されません。

図 1

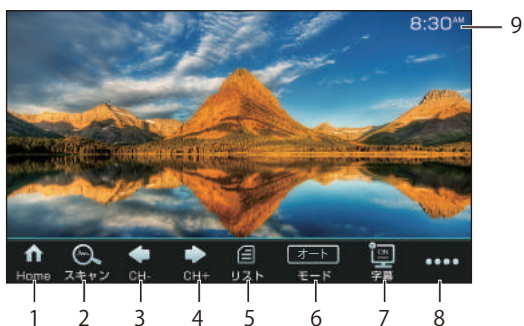
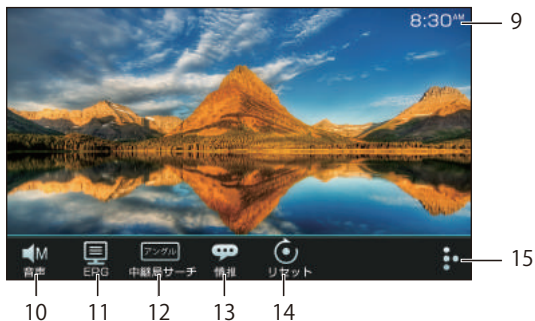


図 2



テレビを観る(つづき)

- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 スキャンボタン
チャンネルスキャンを行います。スキャンが終了すると受信可能な番組が表示されます。
- 3 4 CH-/CH+ボタン
放送番組を変更します。
「CH-」ボタン：前のチャンネルに戻ります。
「CH+」ボタン：次のチャンネルに進みます。
- 5 チャンネルリストボタン
見たいチャンネルをタッチすると、このチャンネルの放送画面に切り替えます。
左下の「キャンセル」ボタンをタッチすると、テレビ画面に戻ります。
- 6 受信モードボタン
このボタンをタッチして受信モードの切り替えができます。
オート：フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。
 強電界地域ではフルセグを受信します。
 弱電界地域ではワンセグを受信します。
フルセグ：フルセグ放送を受信します。
ワンセグ：ワンセグ放送を受信します。
- 7 字幕切替ボタン
字幕放送の字幕表示/非表示についての設定ボタンです。
(工場出荷時：OFF)
- 8 このボタンをタッチすると、操作バーの次のページに入ります。
- 9 時計表示
現在の時刻を表示します。
- 10 音声ボタン
番組に複数の音声がある場合に主音声 (M) /副音声 (S) を切り替えることができます。
※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります。
(工場出荷時：主音声)

テレビを観る(つづき)

11 番組表ボタン

現在受信中のチャンネル番組表一覧が表示されます。

「UP」と「DOWN」ボタンで、スクロールして、番組名をタッチすると、詳細情報が表示されます。

「戻る」ボタンをタッチすると、テレビ画面に戻ります。

12 中継局サーチボタン

自動に設定すると、現在地の受信感度が低下した場合、現在地から最も近い中継局を自動的に検索し中継局サーチを行います。

13 情報ボタン

このボタンをタッチすると、mini B-CASカードのID番号とバージョンの確認画面が表示されます。操作なしで数秒経過すると表示が消えます。

上側：ID番号が表示されます。

下側：バージョンが表示されます。

ご注意

- ※ mini B-CASカードを保護するため、カードの差し込みと取り出しはPOWER OFFの状態で行ってください。

14 初期化ボタン

テレビの全ての設定を初期化（工場出荷状態）します。

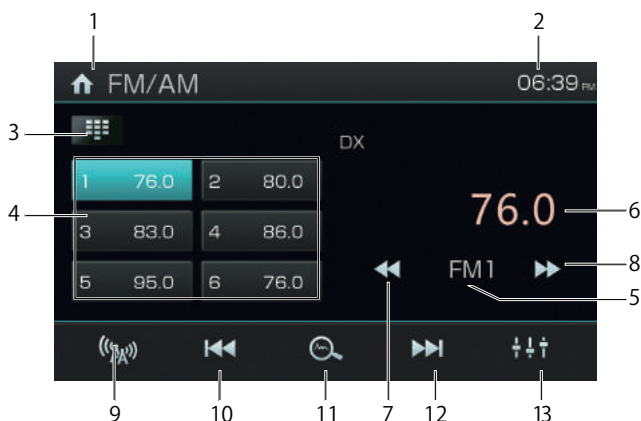
15 このボタンをタッチすると、操作バーの前のページに戻ります。

ラジオを聴く

FM/AMの画面

メインメニュー画面の「FM/AM」をタッチすると、ラジオモード画面に切り替わります。

FM/AM基本画面



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 3 Gotoボタン
任意の周波数をダイレクトサーチします。入力可能な周波数は以下となります。
 - ・FM=76～95 (MHz)
 - ・AM=522～1629 (kHz)例) FMの79.5MHzをサーチしたい場合
バンドをFMに切り替え、テンキーで「7」→「9」→「5」と入力し、「決定」をタッチします。
- 4 プリセットリストボタン
リストにプリセットされた放送局 (1～6) をタッチして選局できます。お好みの放送局を受信したとき、1～6任意の場所を長くタッチすると、その場所に保存できます。
- 5 受信中Band表示
選択しているバンドを表示します。タッチすると、バンドを切り替えることができます。
※FM1/FM2/FM3/AM1/AM2
- 6 受信周波数表示
受信中の周波数が表示されます。
- 7 タッチすると、現在の周波数より低い周波数を自動的にサーチします。
- 8 タッチすると、現在の周波数より高い周波数を自動的にサーチします。

ラジオを聴く（つづき）

- 9 LOC(DX)ボタン
スキャンボタンによる自動サーチをした時、各モードによってサーチの方法を切り替えることができます。
自動検索で電波が強いチャンネルのみ記録する場合はLOCを選択してください。
自動検索で電波が弱く、検索ができない場合はDXを選択してください。
- Localモード：周波数（放送局）サーチを行うと、ノイズの多い周波数（放送局）をスキップして、受信レベルの強い周波数（放送局）のみをサーチします。
 - DXモード：ノイズの多い周波数（放送局）もサーチします。そのため、サーチできる周波数（放送局）はLocalモードよりも多くなります。
（工場出荷時：DX）
- 10 タッチすると、現在の周波数より低い周波数に切り替えます。
※FM=0.1step、AM=9step
- 11 プリセットスキャンボタン
タッチすると、自動的にスキャンを行います。
受信レベルが強い6つの周波数（放送局）を自動的にプリセットします。
※オートスキャンが完了すると、プリセットされていたリストが上書きされます。
- 12 タッチすると、現在の周波数より高い周波数に切り替えます。
※FM=0.1step、AM=9step
- 13 EQ ボタン
（詳しい内容はP44を参照してください。）

Bluetoothを使う

Bluetoothデバイスの接続手順

Bluetooth機器を使う場合、あらかじめ本機にBluetooth機器を登録（ペアリング）する必要があります。

以下の手順に従って、Bluetooth機器の登録を行ってください。

手順1)

AV・本体設定のシステム設定から本機Bluetoothをオンに設定します。

工場出荷時：オン

手順2)

メインメニュー画面から「Bluetooth」ソースアイコンをタッチして、 アイコンをタッチすると、Bluetoothモードのサーチ画面に切り替わります。



手順3)

本機と接続したいBluetoothデバイスのBluetooth設定をONにし、周辺検索します。

検索する機器名称は「ANX-Z1」となります。本機から接続したいデバイスをサーチする

場合に、右のサーチボタン  をタッチします。

手順4)

Bluetoothデバイス側に「ANX-Z1」と表示されたら、デバイス側の指示に従い、ペアリングピンコードを入力してください。本機から接続したいデバイスを接続する場合に、右

のペアリングボタン  をタッチして、デバイス側の指示に従って、ペアリングピンコード

を入力してください。

（工場出荷時ピンコード：1234）

手順4)

ピンコード入力後、ペアリングが成功すると、Bluetooth基本画面に切り替わります。

⚠ ご注意

- ※ Bluetooth デバイスが初めて本機を検索する時には時間がかかります。
- ※ 本機は一部の Bluetooth オーディオプレーヤーでは正しく動作できない場合があります。
- ※ 本機と携帯電話との互換性については保証いたしかねます。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetoothデバイスの接続解除手順

Bluetooth接続画面で接続しているデバイスの名前をタッチして、「接続解除」ボタンをタッチすると、デバイスの接続を解除します。

※注意事項

- 携帯電話の機種によっては、ピンコードの入力が必要になります。その場合、ピンコードを入力します。
- 機種によっては、本機に入力したピンコードと携帯電話側のピンコードと同一であるかを確認する画面が表示されます。その場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 本機では、最大10台登録（ペアリング）することができます。
- ピンコードの初期設定は「1234」です。
- 本機と Bluetooth デバイスの接続範囲は約 5mです。
- 接続する携帯電話によっては、正しく通話できないことがあります。
- Bluetoothデバイス側からの検索やペアリングが正常に行われない場合は、本機からの周辺検索を試してください。

Bluetooth 電話モード画面

ペアリングが完了している場合、メインメニューから「Bluetooth」ソースアイコンをタッチすると、Bluetoothモードの基本画面に切り替わります。

Bluetooth基本画面



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 Bluetoothアイコン
Bluetooth デバイスと接続中は表示され、接続解除されるとアイコンは非表示となります。
- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。

Bluetoothを使う（つづき）

- 4 Bluetooth状態アイコン
このアイコンをタッチすると、Bluetoothのサーチ画面が表示されます。Bluetooth接続されている状態は青色で、接続解除状態は灰色となります。
- 5 接続済みデバイス名表示
本機と接続されているデバイス名が表示されます。

⚠ ご注意

※ デバイスにより、正しく表示されない場合もあります。

- 6 削除ボタン
10キーボードの入力内容を削除することができます。
短くタッチすると1つずつ削除し、3秒以上長くタッチすると入力されている番号を一括削除します。
- 7 10キーボード
番号入力を行います。
- 8 発信ボタン
番号入力後、このボタンをタッチして発信します。
- 9 ダイヤルボタン
このボタンをタッチすると、Bluetooth基本画面(10キーボード画面)が表示されます。
- 10 電話帳ボタン
接続中の携帯電話に保存されている電話番号リストが表示されます。
ダイヤルしたい相手先をタッチして、「発信」ボタンでダイヤルします。

⚠ ご注意

※ 電話帳表示は接続されている携帯電話との同期を行う必要があります。右上の同期アイコンをタッチすると、同期するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると、同期します。初回は同期するまで、数分かかることがあります。
※ 同期する前に携帯側に確認する必要がある場合もあります。

- 11 通話履歴ボタン
本機と接続されている携帯電話の発信履歴/着信履歴/不在着信を表示します。

⚠ ご注意

※ 通話履歴表示は接続されている携帯電話との同期を行う必要があります。
※ 本機と携帯電話がペアリング完了すると、自動的に通話履歴を同期します。
※ 初回は同期するまでに、数分かかることがあります。

- 12 このボタンをタッチすると、Bluetooth音楽画面が表示されます。

⚠ ご注意

※ 接続されているデバイスに音楽データがある場合にタッチできます。

- 13 設定ボタン
Bluetoothの設定画面に入ります。
(詳しい内容はP26を参照してください。)

Bluetoothを使う（つづき）

電話を掛ける場合（発信）

10キーボードや電話帳、発着信履歴から選択した番号に発信することができます。発信された場合は以下の発信画面に切り替わります。
※携帯電話本体を操作して発信することも可能です

発信画面



- 1 発信情報表示
発信先の情報を表示します。
- 2 消音ボタン
このボタンをタッチすると、本機のマイクをミュートします。相手にこちらの声が聞こえなくなります。

⚠️ ご注意

※ 本機のスピーカーを消音するときは、音量調整ボタンで操作してください。

- 3 終話ボタン
発信をキャンセルします。
- 4 マイク切替ボタン
本機のマイクと携帯電話のマイクを切り替えます。

Bluetoothを使う（つづき）

電話を受ける場合（着信）

着信があった場合、着信画面に切り替わります。

※自動応答設定がONになっている場合、着信から数秒経過後に自動的に応答することができます

着信画面



- 1 着信情報表示
着信中の情報を表示します。
- 2 着信ボタン
受話します。
- 3 終話ボタン
電話を切ります。

Bluetoothを使う（つづき）

通話中の場合

通話を開始すると、通話画面に切り替わります。

通話画面



- 1 通話情報表示
通話中の情報を表示します。
- 2 消音ボタン
このボタンをタッチすると、本機のマイクをミュートします。相手にこちらの声が聞こえなくなります。

⚠️ ご注意

※ 本機のスピーカーを消音するときは、音量調整ボタンで操作してください。

- 3 終話ボタン
電話を切ります。
- 4 マイク切替ボタン
本機マイクと携帯電話のマイクを切り替えます。音声出力も切り替えます。
- 5 10キーボード
10キーボードが表示されます。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetooth設定画面

Bluetooth モードの画面で **設定** ボタンをタッチすると、以下の Bluetooth 設定メニュー画面が表示されます。

Bluetooth設定画面



- 1 **ピンコード**
ペアリング用のピンコードを修正したい場合、ピンコードボタンをタッチすると10キーボードが表示されます。4桁の新しいピンコードを入力し、[決定]ボタンをタッチします。
(工場出荷時：1234)
- 2 **自動接続**
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機が自動的にBluetooth デバイスへの再接続を実行します。
(工場出荷時：オン)
- 3 **自動応答**
着信後、数秒経過後に自動的に応答することができます。
(工場出荷時：オフ)

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetooth 音楽の画面

ペアリングが完了している場合、「音楽」ボタンをタッチすると、Bluetooth 音楽の基本画面に切り替わります。

Bluetooth 音楽基本画面



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 Bluetoothアイコン
Bluetooth のデバイスと接続中は表示され、接続解除されるとアイコンが消えます。
- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 4 接続済みデバイス名表示
本機と接続されているデバイス機種の名称が表示されます。

⚠ ご注意

※ デバイスにより、正しく表示されない場合もあります。

- 5 情報表示
再生中のトラック情報が表示されます。
- 6 8 前へ/次へボタン
トラックの選曲を行います。
※ 早送り/早戻しには対応していません
- 7 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると一時停止となり、一時停止中にタッチすると再生されます。
- 9 EQ設定ボタン
(詳しい内容はP44を参照してください。)

Bluetoothを使う（つづき）

⚠ ご注意

- ※ デバイスにより、正しく表示されない場合もあります。
- ※ AVプロファイルの種類やバージョンにより、表示される内容が異なる場合があります。
- ※ 接続されているBluetooth機器によっては、再生音が音飛びする場合があります。
- ※ 接続されているBluetooth機器によっては、再生が開始されない場合がありますので、その場合は、接続されているBluetooth機器側から再生の操作を行ってください。
- ※ 接続プロファイルによって、選曲操作ができない場合があります。
- ※ Bluetooth機器側の仕様や操作については、製造元にお問い合わせください。
- ※ 発着信音量と通話音量の初期値は15です。
発着信音量と通話音量は、共通の音量となっています。
発着信中もしくは通話中に音量調整を行うと、発着信音量と通話音量は連動して調整されます。
発着信と通話が終わった時点で、次の発着信音量と通話音量は15(初期値)に戻ります。

Bluetoothについて

Bluetoothとは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器通して通信できます。

本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。利用するには本機に登録（ペアリング）する必要があります。

メディアを再生する

DVD再生画面

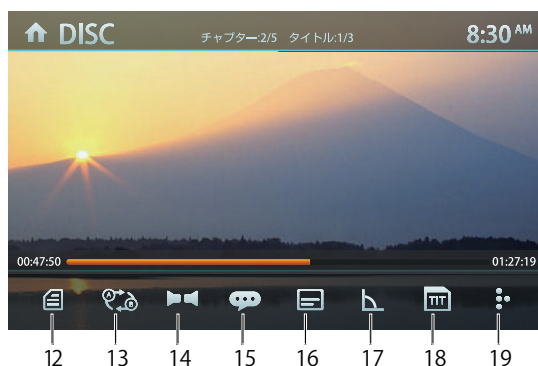
DVDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「DISC」アイコンをタッチすると、DVD画面が表示されます。

- コントロールパネルについて
操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

DVD基本画面1



DVD基本画面2



メディアを再生する(つづき)

- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 チャプターNo./タイトルNo.
再生しているチャプターとタイトル番号を表示します。
- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 4 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 5 EQ ボタン
(詳しい内容はP44を参照してください。)
- 6 前へ/早戻しボタン
短押し=前のチャプターへもどります
長押し=タッチし続けると早戻しされます。長押しするたびに早戻し速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※ 切替速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 7 再生/一時停止ボタン
- 8 次へ/早送りボタン
短押し=次のチャプターへすすみます。
長押し=タッチし続けると早送りされます。長押しするたびに早送り速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※ 切替速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 9 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。
「タイトル」、「チャプター」モードで再生したいタイトル番号/チャプター番号を10キーで入力します。



⚠ ご注意

- ※ ディスクによっては、字幕ボタン、情報ボタン、音声ボタンは表示されない場合があります。

- 10 リピートボタン
タッチするたびに、「チャプターリピート」、「タイトルリピート」、「オールリピート」、「リピートオフ」の順番で切り替わります。

メディアを再生する(つづき)

- 11 このボタンをタッチすると、操作パネルの次のページに入ります。
- 12 メニューボタン
再生中にこのボタンをタッチすると、タイトルメニューの画面が表示されます。
※タイトルメニューが表示されないディスクもあります
- 13 A-Bリピート（区間リピート）ボタン
特定の場所を繰り返し視聴したい場合に使用します。
開始したい場所でこのボタンを一回タッチし、終了したい場所で再度このボタンをタッチすると、指定した区間の再生を繰り返します。
もう一回タッチすると、指定の区間リピート再生をキャンセルします。
- 14 音声ボタン
ディスクに2種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。
※ディスクにより音声切り替えがない場合があります
※音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります
- 15 情報ボタン
ディスクの情報が表示されます。
- 16 字幕ボタン
タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。
字幕をOFFにしたい場合は、字幕が非表示になるまで「字幕」ボタンをタッチしてください。
※ディスクにより字幕言語切替ができない場合があります
※字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります
- 17 ディスクがマルチアングル対応であれば、このボタンをタッチするたびに、各アングルに切り替えることができます。
- 18 このボタンをタッチすると、DISCのメインメニュー画面に入ります。
- 19 このボタンをタッチすると、操作パネルの前のページへ戻ります。

メディアを再生する(つづき)

CD再生画面

CDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「DISC」ボタンをタッチすると、CD画面が表示されます。

CD基本画面



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 3 リストボタン
リスト画面に切り替えます。リストから再生したいトラックをタッチすると、再生画面に入ります。またGotoボタンをタッチすると、10キーボード画面が表示されます。再生したいトラック番号を入力して「決定」ボタンをタッチすると、指定したトラックを再生します。
- 4 情報表示
CD-Rなどメディア情報（タグデータ）が書き込まれたディスクの場合、アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。
※ディスク情報が認識できない場合は「Unknown」表示されます。
- 5 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 6 トラックNo.
再生しているトラック番号を表示します。
- 7 EQ ボタン
(詳しい内容は P44を参照してください。)

メディアを再生する(つづき)

8 10 前へ / 次へボタン

再生中に「前へ」または「次へ」ボタンをタッチすると、前のトラックまたは次のトラックに切り替わります。

長くタッチすると、早戻し/早送りします。長くタッチするたびに、早戻し/早送り速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

※切り替り速度：×2、×4、×8、×16、×32

9 再生 / 一時停止ボタン

再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。

11 ランダムボタン

タッチするたびに、「ランダムオン」、「ランダムオフ」の順番で切り替わります。

12 リピートボタン

タッチするたびに、「リピートシングル」、「オールリピート」、「リピートオフ」の順番で切り替わります。

13 CD Rip ボタン

CDからUSBデバイスへリッピング（録音）することができます。

⚠ ご注意

- ※ この機能を使用するときは USB デバイスが必要です。USB デバイスと本機を接続完了してから操作ができます。
- ※ リッピング中は他の操作をしないでください。
- ※ USBデバイスへのCDリッピング中は、音声出力しません。

メディアを再生する(つづき)

USB メモリーと本機を接続完了してから「CD Ripボタン」を押すと、図1に入ります。

図 1



- 1 1 曲ボタン
このボタンをタッチすると、現在聞いている曲を USB メモリーに書き込みできます。
- 2 全曲ボタン
このボタンをタッチすると、CD の全曲が USB メモリーに書き込みできます。
- 3 キャンセルボタン
このボタンをタッチすると、CD Rip 機能をキャンセルできます。

図 2

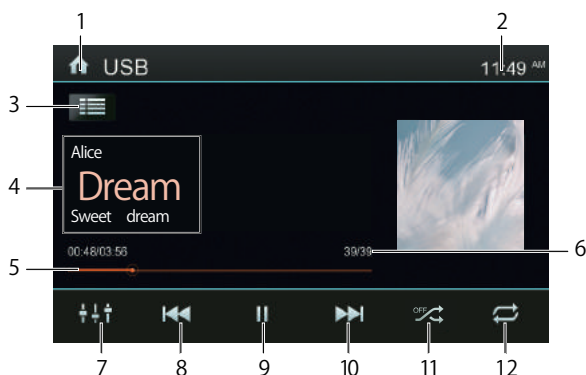


- 1 情報表示
書き込み済の曲数／全体の曲数が表示されます。
- 2 このボタンをタッチすると、書き込み中の内容をキャンセルできます。

メディアを再生する(つづき)

SD/USBミュージック画面

SD/USBミュージック基本画面1



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 3 リストボタン
リスト画面に切り替わります。
- 4 情報表示
再生されているファイル情報が表示されます。
※ファイルにデータ（タグ）情報が認識できない場合は「Unknown」表示されます。
- 5 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 6 ファイルNo.
再生しているファイル番号を表示します。
- 7 EQボタン
(詳しい内容はP44を参照してください。)
- 8 10 前へ/次へボタン
再生中に「前へ」または「次へ」ボタンをタッチすると、前のファイルまたは次のファイルに切り替わります。
長くタッチすると、早戻し/早送りします。長くタッチするたびに、早戻し/早送り速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※切り替り速度：×2、×4、×8、×16、×32
- 9 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。

メディアを再生する(つづき)

- 11 ランダムボタン
タッチするたびに、「ランダムフォルダー」、「ランダムオール」、「ランダムオフ」の順番で切り替わります。
- 12 リピートボタン
タッチするたび、「リピートシングル」、「リピートフォルダー」、「オールリピート」、「リピートオフ」の順番で切り替わります。

ご注意

- ※ USBメモリーは、メディア用のUSBケーブルに接続してください。
- ※ 充電用のUSBメモリーでは認識しません。

メディアを再生する(つづき)

SD/USBリスト画面



- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 ミュージックボタン
USBデバイスにあるミュージックファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 3 ビデオボタン
USBデバイス内にあるビデオファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 4 ピクチャーボタン
USBデバイスにあるピクチャーファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 5 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。ミュージック/ビデオ/ピクチャーの各リスト画面で再生したいチャプター番号入力して決定すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。
- 6 ファイルクイックサーチ
ファイル名の頭文字（数字と英語）でリスト検索できます。

メディアを再生する(つづき)

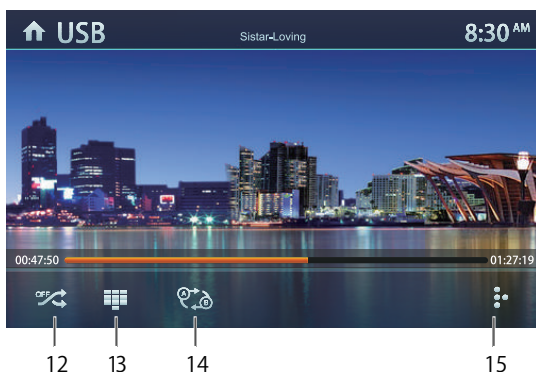
SD/USBビデオ画面

- コントロールパネルについて
操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

SD/USBビデオ基本画面1



SD/USBビデオ基本画面2



メディアを再生する(つづき)

- 1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。
- 2 ファイル名
再生しているファイル名が表示されます。
- 3 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示個所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 4 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。
- 5 EQ ボタン
(詳しい内容は P44をご参照してください。)
- 6 前へ/早戻しボタン
短押し=前のチャプターへもどります。
長押し=タッチし続けると早戻しされます。長押しするたびに早戻し速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※切替速度: ×2、×4、×8、×16、×32
- 7 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止中にタッチすると、再生されます。
- 8 次へ/早送りボタン
短押し=次のチャプターへすすみます。
長押し=タッチし続けると早送りされます。長押しするたびに早送り速度が切り替わり、再度「再生」ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。
※切替速度: ×2、×4、×8、×16、×32
- 9 リストボタン
リスト画面に切り替わります。
- 10 リピートボタン
タッチするたびに、「リピートシングル」、「リピートフォルダー」、「オールリピート」、「リピートオフ」の順番で切り替わります。
- 11 このボタンをタッチすると、操作パネルの次のページに入ります。
- 12 ランダムボタン
タッチするたびに、「ランダムフォルダー」、「ランダムオール」、「ランダムオフ」の順番で切り替わります。
- 13 Gotoボタン
10キーボード画面が表示されます。再生したいタイトル番号を入力して「決定」ボタンをタッチすると、指定したタイトルを再生します。
- 14 A-Bリピート (区間リピート) ボタン
特定の場所を繰り返し視聴したい場合に使用します。
開始したい場所でこのボタンを一回タッチし、終了したい場所で再度このボタンをタッチして、指定した区間の再生を繰り返します。
もう一回タッチすると、指定の区間リピート再生をキャンセルします。
- 15 このボタンをタッチすると、操作パネルの前のページへもどります。

SmartLinkについて

SmartLinkについて

本機にスマートフォンを接続することにより、iPhoneやAndroidスマートフォンの画面をミラーリングおよび操作することができます（操作についてはAndroid機種のみ）。

SmartLink注意事項

■ 動作仕様について

- ・スマートフォンの機種やOS、各種ソフトウェアバージョンによって動作や操作が異なる場合があります。
- ・スマートフォンのソフトウェア（またはファームウェア）が更新されることにより、本機との接続ができなくなる場合があります。また、全てのソフトウェアとの互換性を保証するものではありません。
- ・各種アプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- ・スマートフォンのアプリケーションについてはすべての動作を保証するものではありません。
- ・スマートフォンが接続された状態でスマートフォン側の電源ON/OFFを行うと、正常に起動しない場合がありますので、必ずスマートフォンの電源をONにしている状態で本機と接続してください。
- ・iOS機種の場合、接続解除またはSmartLinkソース以外のソースへ切り替えると、接続が切断されます。その場合は、画面に表示される接続アドバイスに従い、再度接続してください。
- ・接続時において、期待する動作とは異なる場合がありますが、これは各スマートフォン側の仕様によるためであり、本機の故障ではありません。
- ・接続時において、接続に時間がかかる場合は、再度設定を見直して、USBケーブルで再生接続を行ってください。
- ・本機との接続が初めての場合（本機の初期化実行後を含む）、接続に時間がかかる場合があります。
- ・スマートフォン側の画面がロックされた場合、本機の画面がスクリーンOFFになる場合があります。
- ・iOS機種の場合、メインメニューや地図メニューに遷移すると、CPU負荷をかけるとノイズが入る場合や音切れが発生する場合があります。

■ 画面切替について

- ・Android機種を接続した場合、アシストアイコンにて画面の縦横切替が可能となりますが、スマートフォン機種によっては正しく表示されない場合があります。
- ・スマートフォンの縦横画面切替表示の際、スマートフォンと同じ表示画面にならない場合があります。
- ・本機とスマートフォンが接続解除されているにもかかわらず、スマートフォン側の画面表示が正しくない場合は、スマートフォン側の操作で画面切替を行ってください。

■ 音声出力および画面操作について

- ・Android機種の場合、Bluetooth接続を行わないと、本機から音声が出力されませんので、接続前にBluetoothによるペアリングを行ってください。
- ・iOS機種の場合、Bluetooth接続を行わなくても各プレイヤーやAPP（アプリケーション）によるコンテンツの音声が出力されますが、電話の通話音声は出力されません。
- ・Android機種接続の場合、本機からの画面操作が可能となります。ただし、ピンチイン/ピンチアウト操作には対応しておりません。

※ Bluetooth接続時にBluetooth TEL着信が入った場合は、ソースがBluetooth TELソースに切り替わります

SmartLinkについて（つづき）

■各OSによる音声操作および画面操作の対応表は以下の通り

OS	音声出力	通話音声出力	本機による画面操作
iOS	○	△(※2)	-
Android	○(※1)	○(※1)	○

※1 Bluetoothによるペアリングが必要。

※2 Bluetoothによるペアリングが確立されている場合は、Bluetooth TELに切り替わり通話音声出力が可能。

■ その他

- ・ 接続するUSBケーブルによっては、本機と接続ができない可能性があります。必ずスマートフォン専用のUSBケーブルをご使用ください。
- ・ 接続するUSBケーブルはデータ通信専用ケーブルをご使用ください。
- ・ スマートフォンや各種APP（アプリケーション）の取り扱いおよび操作方法などについては、サポート対象外となりますので、各メーカーへお問い合わせください。
- ・ 各種APPによっては、期待した動作にならない場合があります。
- ・ 接続アドバイス画面が表示されますが、接続されているスマートフォン機種によってはアドバイス画面の内容や接続方法が異なる場合があります。
- ・ 接続されているスマートフォン機種によっては、給電されない場合があります。
- ・ バッテリー残量が少ない場合またはアプリの使用状態によっては、給電ができない場合があります。
- ・ 運転中の画面注視は道路交通法により禁止されています。運転中の操作や画面注視および本機とのスマートフォン接続（取り外し）行為はしないでください。
- ・ スマートフォン本体やそれらのケーブル類を車内に長時間放置しないでください。
- ・ SmartLink機能について、すべての携帯電話との適合性を保障できません。予めご了承ください。
- ・ ごく稀に振動等によりMHL端子の接続不良が生じ、本体での表示ができなくなる場合があります。この場合スマートフォン本体とMHLケーブルの再接続（抜き差し）をしてください。

SmartLinkについて（つづき）

スマートフォンの接続手順

- ・スマートフォンのOSや設定により、以下で記した手順が異なる場合がありますので、該当する機種の手順を参照してください。
- ・機種や設定によっては、接続方法が異なる場合があります。
- ・接続する際は、スマートフォン側の電源がONになっている状態で接続してください。

■ iOS

iOS機器をUSBケーブルで本機と接続し、接続アドバイス画面に従って操作してください。

手順1)

iPhoneの「設定」をタップします。

手順2)

「インターネット共有」から「インターネット共有」設定をONにします。

手順3)

コントロールセンターを開き、「AirPlayミラーリング」をタップします。

手順4)

AirPlayデバイスリストから本機のアドレスを選択します。

接続完了後、iOS機器の画面が本機に表示されます。

接続が失敗すると下の画面が表示されます。USBを一度外して、iOS機器の設定を再度確認して「リトライ」をタッチしてください。



※iOS機器の場合は、本機側からの画面操作はできません。

※画面の自動ロック設定がされていると、画面がロックされたあと、接続メニューになってしまいます。自動ロックを解除してください

※iOS6.0以降より対応となります。OSのバージョンアップなどで、接続方法が変わる場合がございます。その場合は端末の説明書や、インターネットなどをご確認ください

■ Android

接続アドバイス画面に従って操作してください。

手順1)

Android機器の「設定」をタップします。

SmartLinkについて（つづき）

手順2)

設定メニューの「開発者オプション」をタップします。

手順3)

「USBデバッグ」をONにします。

手順4)

USBケーブルでスマートフォンを接続します。

接続完了後、Android機器の画面が本機に表示されます。本機およびスマートフォンから操作が可能となります。

接続が失敗すると下の画面が表示されます。USBを一度外して、Android機器の設定を再度確認して「リトライ」をタッチしてください。



※「USBデバッグ許可」のメッセージが表示された場合は、デバッグを「許可」してください

※接続確認に時間がかかる場合があります

※接続がうまくいかない場合は、再接続するかケーブルを見直してください

※開発者オプションが見つからない場合は、P66を参照ください

※「SmartLink」アプリが自動で接続中のAndroid端末にインストールされます

※Android4.4.6以降より対応となります。OSのバージョンアップなどで、接続方法が変わる場合がございます。その場合は端末の説明書や、インターネットなどをご確認ください

接続完了後、Android機器の画面が本機に表示され、画面上に  アシストアイコンが表示されます。アシストアイコンをタッチすると、以下のコントロールアイコンが表示されます。



：Android機器の前画面に戻ります。



：SmartLinkの画面でこのボタンをタッチすると、SmartLinkのメニューが表示されます。

※このボタンはEasyConモードのみ機能があります。

戻る：SmartLink画面からAndroid機器のメインメニューに戻ります。

設定：音声起動などを設定します。

About：SmartLinkのバージョン情報を表示します。



：Android機器のメインメニューに戻ります。



：本機のメインメニューに戻ります。



：接続を解除します。

オーディオ設定

EQ設定

メインメニューの「オーディオ設定」ボタンや各画面の「」ボタンをタッチした場合、以下のEQ（イコライザー）設定画面に切り替わります。



- 1 戻るボタン
前の画面に戻ります。
- 2 時刻表示
現在の時刻を表示します。この表示箇所をタッチすると、時計画面に入ります。
- 3 Balanceボタン
フェーダー/バランス設定画面に切り替わります。
- 4 リセットボタン
このボタンをタッチすると、オーディオ設定画面のすべての設定値は工場出荷状態に戻ります。
- 5 EQプリセットモードボタン
各プリセットをタッチすることでイコライザーを選択することができます。
お好みのイコライザー設定にする場合は「ユーザー」を選択し、各周波数のメモリをタッチして調整します。

<EQプリセット>

ユーザー/スタンダード/ポピュラー/ブルース/ロック/スロー/ジャズ/クラシック/ダンス/重低音モード/テクノ/高音モード/フレッシュ/エコー/リーガル

※工場出荷時：ユーザー

オーディオ設定(つづき)

フェーダー/バランス、サブウーファー設定



- フェーダー/バランス設定
上下左右の各ボタンをタッチすることで、前後左右のスピーカーバランスを調整することができます。
※設定範囲：前後：F20～R20、左右：L20～R20
※工場出荷時：0
- LPF（サブの周波数調整）
サブウーファーの周波数を調整します。60Hz/80Hz/100Hz/200Hzの調整ができます。
※工場出荷時：60Hz
- サブウーファー設定
サブウーファーのバーをタッチすることで、サブウーファーのレベルを調整することができます。
※設定範囲：0～40
※工場出荷時：20
- ラウドネス調整
低音を調整します。
※設定範囲：0～20
※工場出荷時：0

本体設定

メインメニューの「AV・本体設定」ボタンをタッチして、本体設定画面に入ります。

システム設定



- 1 日時
本機設定の時間を表示します。時間をタッチすると、調整の画面が表示されます。
各設定項目を上下スライドして、決定ボタンを押すと、時間設定ができます。
※アイコンが暗い場合、本画面の「GPS時間同期」を「同期しない」に設定してください。
- 2 AM/PM
12時間モードの時、AM/PM設定ができます。24時間モードでは設定できません。
- 3 時間表示
12時間モードと24時間モードを調整します。
※工場出荷時：12時間モード
- 4 GPS時間同期
GPS時間を同期する/同期しない設定します。
※工場出荷時：同期する
- 5 言語設定
日本語と英語を調整可能です。
※工場出荷時：日本語
- 6 Bluetooth設定
本機のBluetoothをオン/オフ設定します。
※工場出荷時：オン

音声設定



本体設定（つづき）



- 1 ビープ音（操作音）
ビープ音のオン/オフを切り替えます。
※工場出荷時：オン
- 2 バック時音声設定
バック（リバーズ）時、再生しているソースの音量調整をすることができます。
 - ・ハーフボリューム：ソースの音量が50%になります。
 - ・フルボリューム：ソースの音量は変化しません。
 - ・ミュート：ソースの音量が0（ミュート）になります。※工場出荷時：ハーフボリューム
- 3 ソースレベル調整
ソースを切り替えた時、ソースごとに音量の違いが出ないように、各ソースの音量差を調整することができます。
※設定範囲：0～12
※工場出荷状態：6
※設定可能ソース：FM/AM、DISC、USB、SD、VTR、AUX、Bluetooth音楽、DTV

画面設定



本体設定（つづき）

1 時計表示

DVD、USB、SD、VTR、DTVなど、映像がフル画面で表示されているとき、画面の右上に時計を表示させることができます。

※工場出荷時：オン

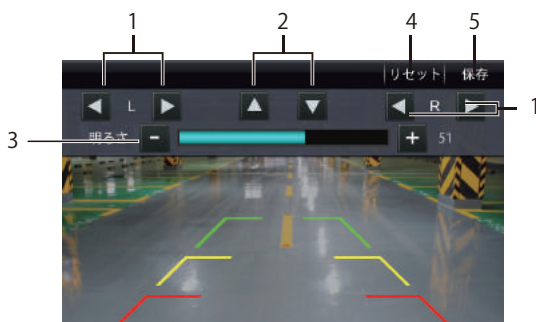
2 バックガイドライン設定

バックカメラガイドラインのオン/オフ設定ができます。

※バック（リバース）信号が検出された時のみ、ガイドラインの調整は可能です。
（バックカメラガイドライン調整画面参照）

※工場出荷時：オフ

バックカメラガイドライン調整画面



1. 車幅ライン調整ボタン
ガイドラインの車幅を調整します。
2. STOPライン調整ボタン
STOPラインの位置を調整します。
3. 明るさ調整ボタン
画面の明るさを調整します。
4. ガイドラインリセットボタン
調整したガイドラインが工場出荷状態に戻ります。
5. 保存ボタン
調整したガイドラインを保存します。

3 リアカメラ設定

バックカメラの表示をノーマル表示とミラー表示に切り替えることができます。

※工場出荷時：ノーマル

本体設定（つづき）



- 4 LCDバックライト調整
画面のバックライトを調整します。
※調整範囲：0~20
※工場出荷時：20
- 5 明るさ調整
画面の明るさを調整します。
※調整範囲：0~20
※工場出荷時：17
- 6 色合い調整
画面の色合いを調整します。
※調整範囲：0~20
※工場出荷時：10
- 7 コントラスト調整
画面のコントラストを調整します。
※調整範囲：0~20
※工場出荷時：7
- 8 鮮やかさ調整
画面の鮮やかさを調整します。
※調整範囲：0~20
※工場出荷時：10

本体設定（つづき）

ナビゲーション設定



- 1 ナビガイド割り込み設定
ナビゲーションのルート案内中にAV画面へのガイド割り込みオン/オフ設定と2画面表示機能（ナビ/テレビ画面同時表示）を設定します。

- ・ナビガイド割り込みオン＝ナビゲーションの誘導音声および交差点拡大図などのナビ画面割り込みをします。

※本機能をオンにした場合、2画面同時表示機能は使用できません

- ・ナビガイド割り込みOFF＝ナビゲーションの誘導音声のみ割り込みします。

※本機能をオフに設定した場合、2画面同時機能が使用できます

（工場出荷時：オン）

本体設定（つづき）

その他の設定



- 1 バージョンボタン
右側のアイコンをタッチすると、現在のソフトウェアバージョン情報が表示されます。
- 2 右側のアイコンをタッチすると、工場出荷設定に戻る確認の画面が表示されます。
「はい」ボタンをタッチすると、本体が再起動して、すべての設定が工場出荷状態に戻ります。
- 3 SWC（ステアリングコントロール）
SWC設定画面の各機能をステアリングリモコンに割り当てることができます。
お好みの割り当て設定が完了すると、ステアリングリモコンから「再生」や「音量調整」などを操作することができます。
＜設定方法＞
 1. 本体とステアリングリモコンの接続を確認してください。
 2. SWC設定の右のアイコンをタッチすると、SWC設定画面に切り替わります。



3. 「再学習」をタッチします。
4. ステアリングリモコンに割り当てをしたい機能のボタンをタッチすると、そのボタンは点滅します。その時、動作させたい車のステアリングリモコンのボタンを押します。ボタンの色がグレーになると、登録完了となります。

本機で設定可能なボタン：

SRC（ソース）ボタン、ミュート（消音）ボタン、前へ/次へボタン、音量+/音量-ボタン、終話ボタン、受話ボタン

本体設定（つづき）

⚠ ご注意

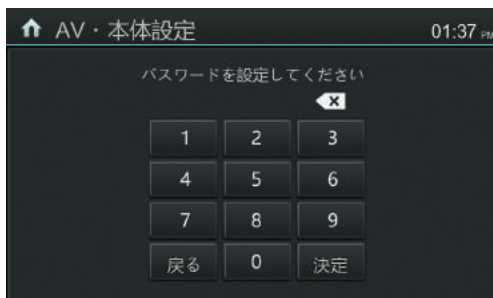
- ※ 車種により、「ステアリングコントロール1」ケーブルで接続して設定できない場合があります。設定できない場合には「ステアリングコントロール2」ケーブルで接続してください。
- ※ 車種により対応できないキーがあります。
- ※ 初期設定戻したい時は、「再学習」ボタンをタッチしてください。

4 ディスク設定



1. パスワード設定

ベアレンタルコントロールのパスワードを設定する時に使用します。



■ パスワード設定方法

パスワードを入力し、「決定」ボタンをタッチすると、パスワードを設定することができます。

■ パスワードを忘れた場合

強制キャンセルパスワード4321を入力します。

※工場出荷時：パスワード設定なし

本体設定（つづき）

2. Rating Level設定

パレンタル（視聴制限）レベルを設定します。

DVDのパレンタルレベルの制限内容は国によって異なります。

Kid Safe	子供向け
G	一般向け
PG	保護者の手引きが必要
PG-13	保護者の厳重な注意が必要
PG-R	保護者の制限が必要
R	保護者の同伴が必要
NC-17	17歳未満は鑑賞禁止
ADULT	成人向け

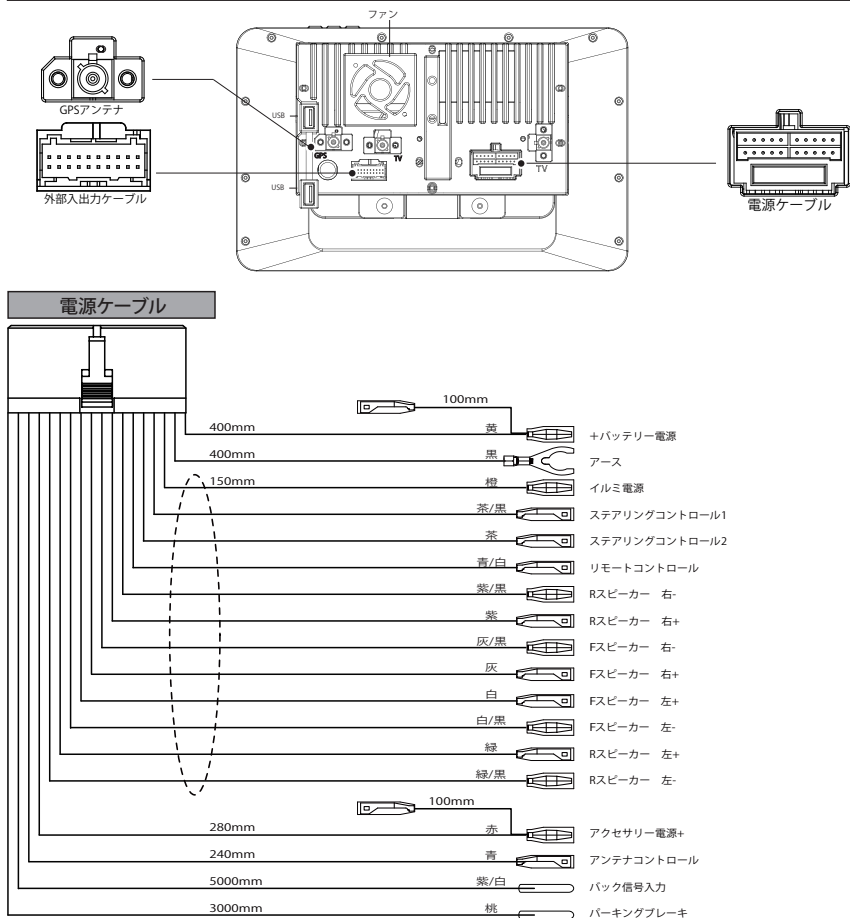
（工場出荷時：ADULT）

ご注意

- ※ 視聴制限が設定されたディスクを再生する時にパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合は正しいパスワードを入力しないと、再生は開始しません。
- ※ 安全のために、初期化してもペアレンタルコントロールのパスワードと Rating Level は初期化しません。

電源・ケーブルの接続方法

各コネクタは奥まで確実に押し込んで接続してください。接続が不十分だと、誤動作の原因となります。



接続時に気をつけていただきたいこと

●アース線について

製品の発煙や故障を防ぐために、アース線を必ず一番最初に接続してください。
車のボディ金属部に確実に取り付けてください。ノイズ防止のため、できる限りナビゲーション本体の近くに接続してください。

●バッテリー電源

車のエンジンスイッチON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路へ接続してください。

●アクセサリ電源について

車のエンジンスイッチをACCポジションにした時、電源が供給される電源回路へ接続してください。エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。

アクセサリ電源は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると、車のバッテリーが消耗し、バッテリー上がり
の原因となります。

●アンテナコントロールについて

ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合は、必ず、本機の青リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続しないと車種によっては、ラジオ放送の受信ができない場合があります。

●パーキングブレーキについて

車が停車していることを確認するために使用します。パーキングブレーキ線は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと、一部の機能が使用できなくなります。

●イルミ電源

車のライトをONにした時に電源が供給される電源回路へ接続してください。

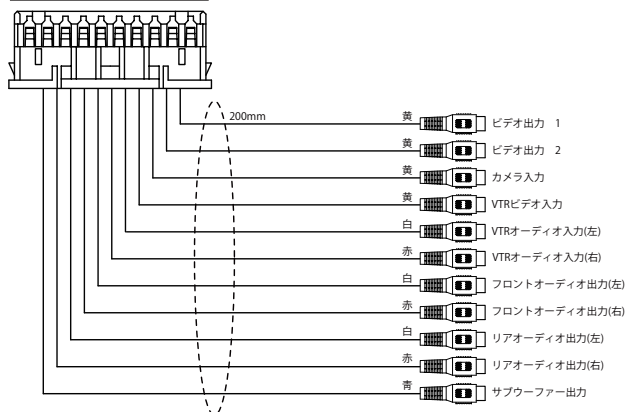
●バック信号入力

この接続は車の前進/後退を判断するものです。バックランプのリード線など「シフトレバーをリバースの位置にした際、電圧が変化するリード線」に接続してください。

※接続しないと、前進/後退を正しく検知することができないため、自転車位置がずれる場合があります

電源・ケーブルの接続方法(つづき)

外部出力ケーブル



GPSアンテナ

- GPSアンテナは車内専用となります。
- GPSアンテナはワイパーやピラーなどで遮られない場所へ水平に設置してください。
- GPSアンテナを塗装やシール貼付などしないでください。性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナの取り付けには、付属の金属固定プレートを使用してください。使用しないと、十分な性能を発揮しくなります。
- GPSアンテナは各車載機器(※1)および各アンテナ(※2)から50cm以上離して配置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、誤動作を起こす原因となる場合があります。

※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど

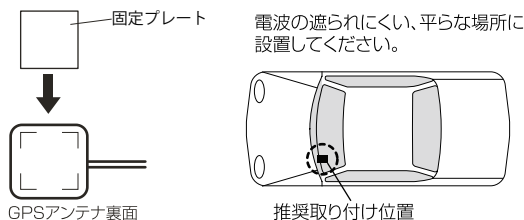
※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

取り付け例(ダッシュボード上)

車内のなるべく水平な場所でアンテナがウィンドウの外へ向く場所へ金属固定プレートを置き、そへGPSアンテナを設置します。正しく設置しないと、本来の性能が発揮出なくなる場合があります。

※取り付け面の汚れや油分を拭き取ってください

※固定プレートの上に水平にGPSアンテナを配置してください



接続時のポイント

●ノイズ防止について

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類からできるだけ離して配置するようにしてください。

- ・フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
- ・FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- ・GPSアンテナおよびそのアンテナコード

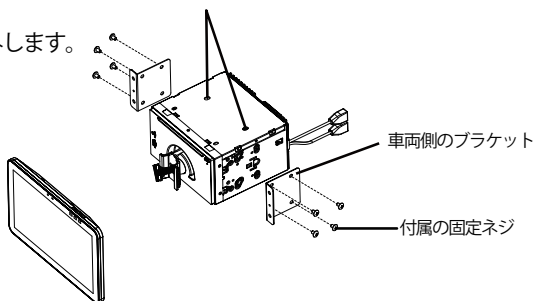
それぞれのアンテナコード同士もできる限り離して配置してください。

それねたり、重ねたり交差させたりすると、アンテナコードにノイズが入り込み受信感度が悪くなる場合があります。

本体の設置方法

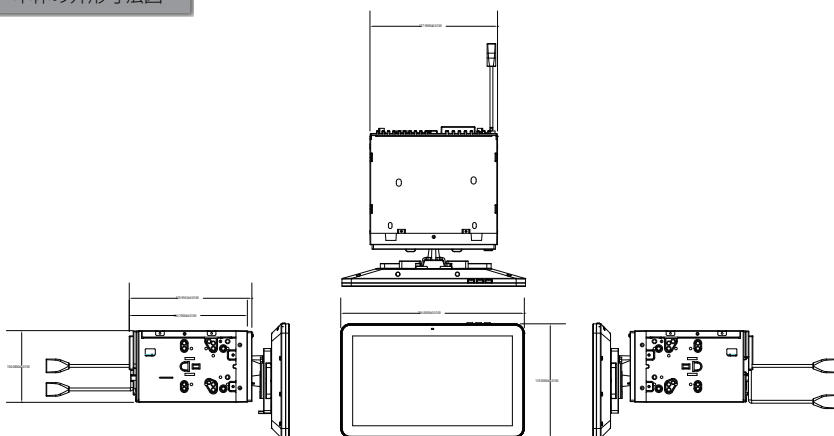
本体の設置方法

1. 初めに輸送用固定ネジ2か所を外します。



2. 車両に付属のブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の固定用ネジで取り付けます。
3. 車両の元の位置に取り付けします。
 - ※ 取り付けは水平に対して、30度以下の角度に取り付けてください。
 - ※ フェイスパネルの形状によっては、可動部分が干渉する可能性があります。慎重に確認のうえ、取り付けてください。
 - ※ フェイスパネル（ワイドパネル）、ブラケットの形状によっては、付属のネジで取り付けられないことがあります。付属の固定ネジ以外で取り付ける場合は、ネジ部を5mm以上ねじ込まないでください。

本体の外形寸法図

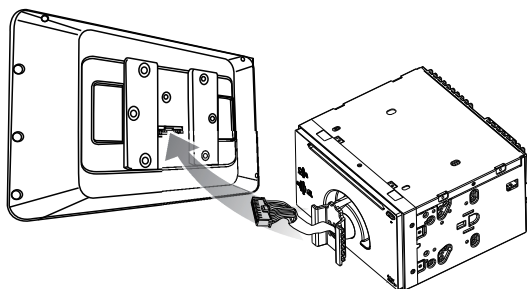


接続上のご注意

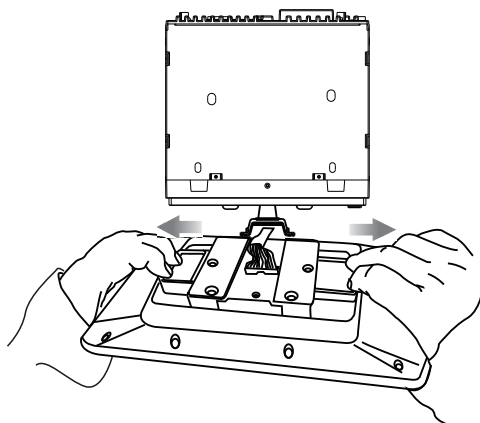
- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディ金属部に接続してください。この時、緩みがないよう、確実に取り付けてください。また、パワーアンプ等の消費電力の大きい製品のアースとは別の場所に取り付けてください。一か所に集中して取り付けると、ネジの緩みや外れる可能性があり、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- ※ アースの取り付け方によっては、動作が不安定になる場合がありますので、その場合は、アースの取り回しをご確認ください。
- 必ず付属されている部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- コネクターは“カチッ”と音がするまで押し込み確実に接続してください。
- コネクターを取り外す際は、コネクタ部分のロックを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張るとコードが切断される可能性があります。

モニター取り付け説明

1. 本体側のコネクタをディスプレイ裏側のコネクタ差込口に差込みます



2. ディスプレイの取り付けレバーを左右に広げ、本体側のガイドレールに上から差込みます



※モニター位置調整について

- 取り付けレバーを左右に広げながら、スライド調整して高さを合わせます
- ディスプレイの位置によっては、走行中に揺れる場合があります
- ディスプレイの取り外し時には、本体と接続されているコネクタ破損にご注意ください。故障の原因となる可能性があります
- 頻繁にディスプレイ取り外しを行うと、緩みの原因となる可能性や故障の原因となりますので、ご注意ください

フィルムアンテナについて

次のようなところでは、映像が受信しにくいまたは受信できない場合があります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズは発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
 - ※ 電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

貼り付ける際の注意点

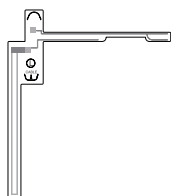
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直しできません。アンテナを貼る前に必ずコード及びアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。
- フロントウィンドウ（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けられないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フィルムアンテナやはくり紙などを剥がした面には手で触れないでください。また長時間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。

フィルムアンテナの構成

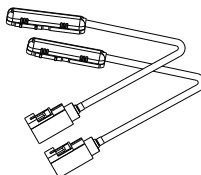
1 セット部品一覧

※本製品はフィルムアンテナが1セット付属しています

フィルムアンテナ



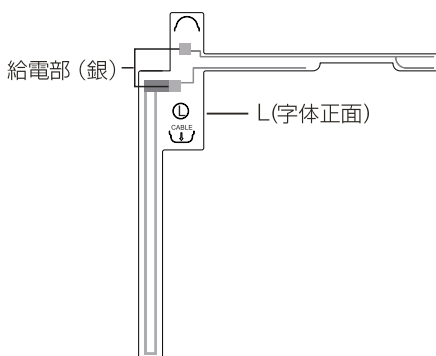
アンテナケーブル（アンプ付き）



2 フィルムアンテナ構造

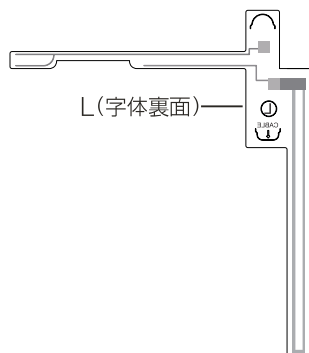
車側：「L①」の文字が通常に確認できる面が車の内側になります。

図1



フロントガラス側：「L①」の文字が反対になる面がフロントガラス側になります。

図2

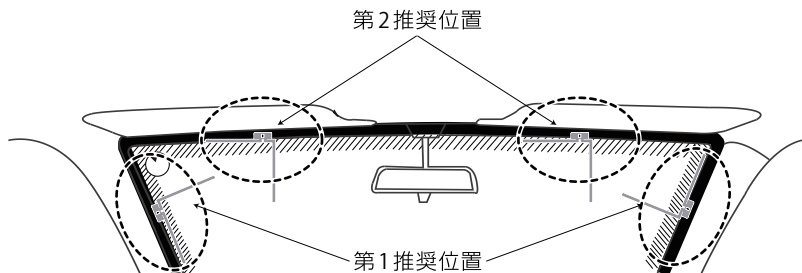


フィルムアンテナ貼り付け位置について

- アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナや ETC 受光部から2センチ以上離して貼り付けてください。
- アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックライン上または、内張りに重ねられないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

第1推奨位置は以下の通りです。

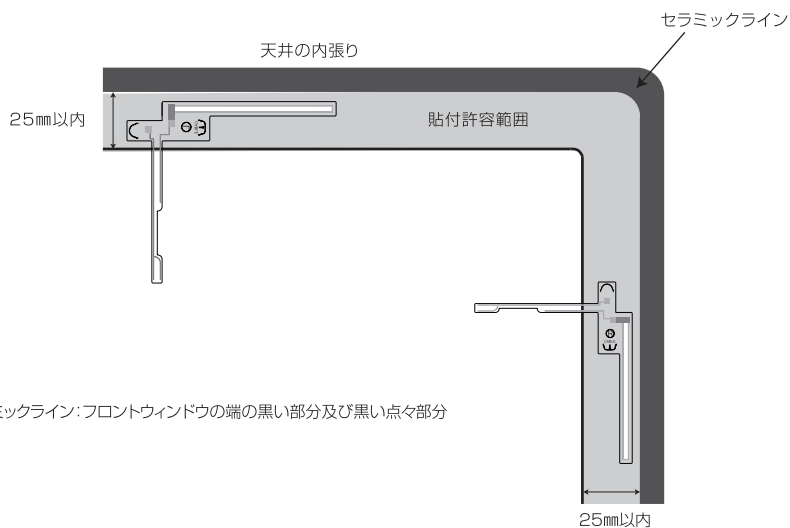
第2推奨位置は以下の通りです。



■ 貼付許容範囲

フィルムアンテナの給電部及びアンプ部は、必ず許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲：セラミックラインより内側に25mm以内の範囲

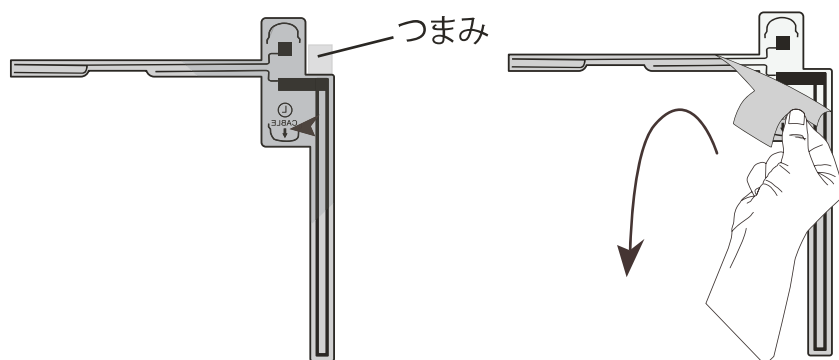


※セラミックライン：フロントウィンドウの端の黒い部分及び黒い点々部分

フィルムアンテナを貼り付ける

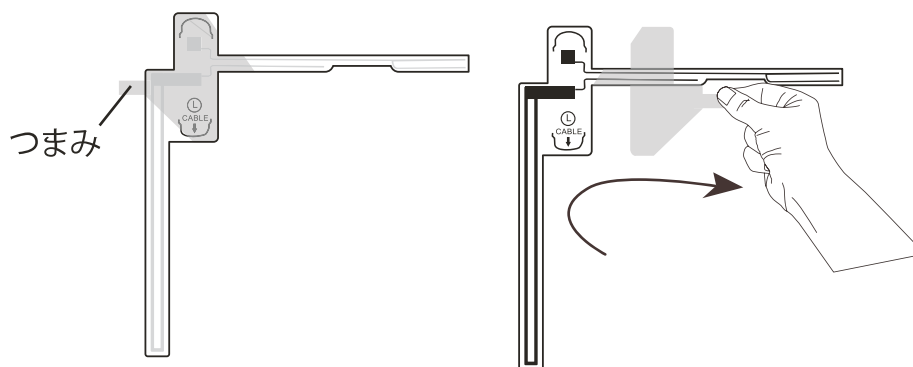
- 1 フィルムアンテナ背面テープ余白の部分を持って、セパレーターを剥がして、予め決めた位置に貼り付けてください。

図 1



- 2 フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。
- 3 フィルムアンテナ正面のラベルを持って、セパレーターを剥がしてください。

図 2

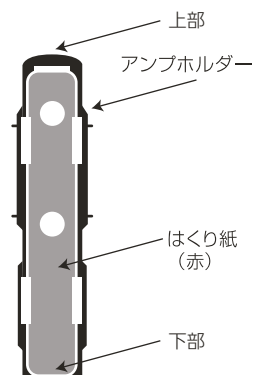


⚠ ご注意

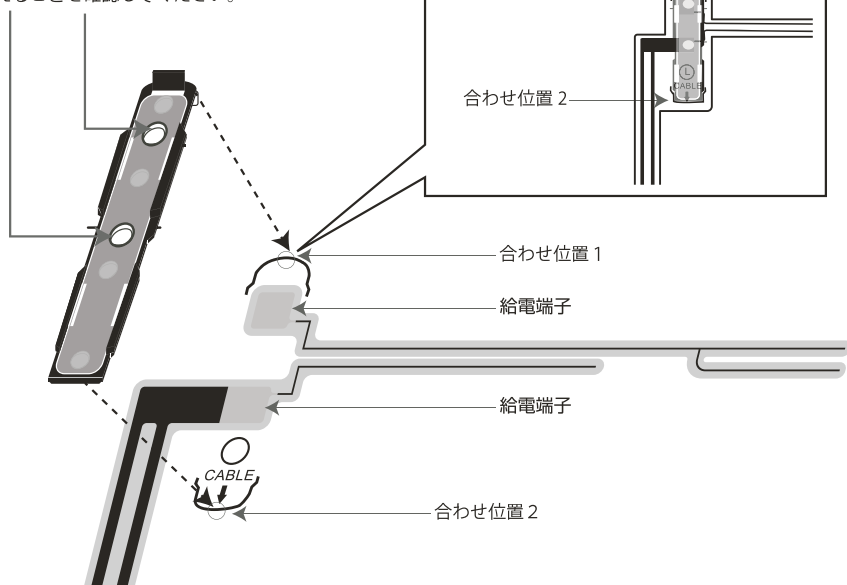
※ フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるため、お止めください。

アンプホルダーを給電部に貼り付ける

- 1 アンプホルダー裏面のはくり紙をはがします。
- 2 給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。
アンプホルダーの「上部」「下部」と
エレメントの「合わせ位置1」「合わせ位置2」が
合うように取り付けます。

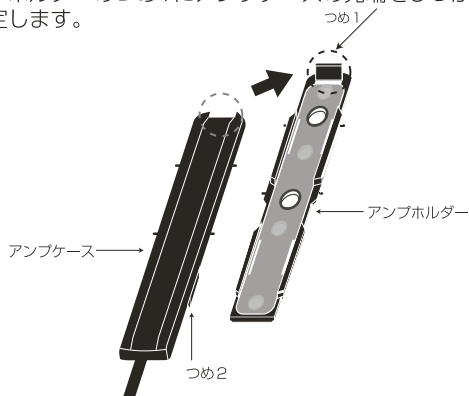


この穴から給電端子が見えることを確認してください。

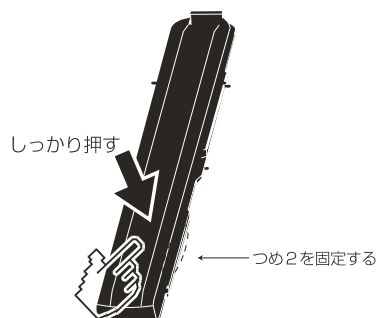


アンテナケーブルを固定する

アンプホルダーのつめ1にアンプケースの先端をひっかけて、それを支点にしてつめ2を固定します。



「カチッ」と音になるまでアンプケースを押して、つめ2をしっかり固定する。



付属のアンテナ固定用テープで、ケーブルを固定してください。

※アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり、外れる原因となることがあります。

⚠ 警告

- ※ ピラーにエアバックが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないさい。
- ※ 車両のペダル付近には配線しないでください。
- ※ 運転の妨げにならない場所に配線してください。

アンテナ端子を接続する

アンテナ端子を本体に接続してください。

トラブルシューティング

一般項目

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	電源ケーブルは正しく接続されていますか？ ヒューズは切れていませんか？ 他の機器のノイズを受けていませんか？	配線を確認してください ヒューズを交換してください(15A) 本機から他の機器を離してください
再生できない	ディスクが汚れていませんか？ この機器に対応したディスクですか？	ディスクをクリーニングしてください ディスクを確認してください
音が出ない	ディスクが正しく挿入されていますか？ ミュートになっていませんか？ 配線は正しいですか？	ディスクの向きを確認してください ミュートを解除してください 配線を確認してください
音量が小さい	ボリュームが小さくないですか？	音量を上げてください
前または後ろのスピーカーから音が出ない	前後のバランスは0になっていますか？	オーディオ設定のバランス設定を確認してください
左または右のスピーカーから音が出ない	左右のバランスは0になっていますか？	
液晶のドット欠け	—	液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。
本体の電源が落ちて再起動してしまう。または、アイドリングストップ車で、アイドリングストップからエンジン始動の時に本体が再起動してしまう	本製品では、車両の電圧値がある一定の電圧値以下になった場合、回路保護により、ナビ自体の電源が切れる仕組みとなっています	車両側の電圧値は正常か確認してください 電源ケーブルの取り回しを確認してください 電源ケーブルの接続は正しいか確認してください アース(GND)は確実に取り付けられているか確認してください

FM/AM

症状	原因	こうしてください
電波が受信できない	アンテナは接続していますか？ LOC/DX 機能は設定しましたか？	アンテナを接続してください DXを選択してください

トラブルシューティング (つづき)

DISC/USB

症状	原因	対処方法
再生できない	メニュー画面でチャプター選択の画面ではないですか？	チャプターを選択してください
画面が映らない	パーキング線は接続されていますか？	パーキング線の接続を確認してください
音が出ない	画像を再生中ではないですか？ ボリュームは小さくないですか？ ミュートになっていませんか？ AUDIO OFF 機能をOFFにしていますか？	他のモードに切り替えてください ボリュームを上げてください ミュートを解除してください AUDIO OFF 機能をOFFにしてください。
言語と字幕を変更できない	ディスクに2種類以上の言語/字幕が入っていますか？	複数言語/字幕対応のディスクをご使用ください
ディスク再生中ノイズが大きい・回転音が大きい	ディスクに傷や曲がりはないですか？ ディスクは汚れていませんか？ ディスクは本機に対応していますか？	ディスクを交換、確認してください
MP3 再生中、ノイズが大きい 再生できない	フォーマットは正しいですか？ 圧縮は正しく行われていますか？	対応フォーマットを確認してください
メディア再生中、順番が異なる	ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？	ファイル名を確認してください
USB再生メモリーを認識しない	充電用USBケーブルに接続していませんか？	メディア用USBケーブルに接続してください

DTV

症状	原因	対処方法
テレビが映らない テレビの映りがわるい	アンテナを接続していますか？ チャンネルスキャンはしていますか？ アンテナの貼り付け位置は正しいですか？ 電波のわるい場所を走行してはいませんか？	アンテナを接続してください チャンネルスキャンをしてください 正しい位置に貼り付けてください 場所や方向により受信状態は変化します
受信に時間がかかる	電源を入れたときや、チャンネルを切り換えたときではありませんか？	電源を入れたときや、チャンネルを変えたときは、データ取得のため映像を表示するまで時間がかかります
画面にブロックノイズがでる	自動車、電車、高圧線、ネオンサインなどから電波の影響を受けていませんか？ 近くにラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナはありませんか？	電波の受けない場所まで移動してください
映像や音声は外部出力できない	—	DTVソースは外部への映像・音声出力は非対応となります

トラブルシューティング（つづき）

Bluetooth

症状	原因	対処方法
Bluetooth対応デバイス接続後に音質が悪くなった	Bluetooth通信の状態は良いですか？	デバイスを本機の近くに移動してください 障害物を取り除いてください
ペアリングできない	デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていますか？	他のデバイスを接続してください
	デバイスのBluetooth機能が有効になっていますか？	デバイスのBluetooth機能をオンにしてください
	本機のBluetooth機能がオンになっていますか？	本機のBluetooth機能をオンにしてください
	—	機器によっては接続できない場合があります

※ Bluetoothは小電力で通信するシステムですので、外部からの影響を受けやすいため、接続に時間がかかる場合があります。スキャンとペアリングを繰り返すと、状況が改善することがあります。

SmartLink

iPhone機種

症状	原因	対処方法
「インターネット共有」をONにしても接続できない	スマートフォンのモバイルデータ通信利用が可能になっていますか？	- モバイルデータ通信がONになっていることを確認してください - モバイルデータ通信が利用できない場合、ご契約内容をご確認ください
本機と接続できない	USBケーブルで接続する時、iOS機器側に表示された「このコンピュータを信頼しますか？」のメッセージ表示時、「信頼しない」をタップしましたか？ USBケーブルは問題ありませんか？	- USBケーブルを抜き差しして、再度接続してください 「このコンピュータを信頼しますか？」のメッセージ表示時は「信頼」をタップしてください - スマートフォン専用のUSBケーブルを使用してください

Android機種

症状	原因	対処方法
設定メニューの「開発者オプション」が見つからない	機種により「開発者オプション」の場所や設定方法が違う場合があります	「設定」-「端末情報」-「ビルド番号」を7回ほどタップすることで、「開発者オプション」の項目を表示させることができます 「開発者オプション」の項目が見つからない場合、スマートフォンメーカーへご相談ください
本体画面をタッチまたはスマートフォン画面をタップしても反応しない 強制横画面にならない	スマートフォン側にて、全ての動作を許可しましたか？	「設定」-「アプリケーション」-「some-service」-「権限マネージャー」の手順で、全てを「許可」にしてください 「権限マネージャー」項目が見つからない場合、スマートフォンメーカーへご相談ください

トラブルシューティング（つづき）

SmartLink

共通

症状	原因	対処方法
映像や音声で外部出力できない	—	SmartLinkソースは外部への映像・音声出力は非対応となります

ナビゲーション

症状	原因	対処方法
GPS受信の表示が出ない	アンテナケーブルが接続されていますか？	アンテナケーブルを接続してください
	障害物などにより、GPS衛星の電波の受信を遮っていませんか？	障害物などが無くなれば、受信できます
音声案内が出ない	フェリーなどで大幅に移動しましたか？	走行することにより表示されるようになります
	ナビモードの安全運転ガイド設定や案内設定で「しない」に設定していませんか？	ガイドボリュームを上げてください ソース別音量を上げてください
地図画面が乱れる	電氣的ノイズを発生する電気機器を本機の近くで使用していませんか？	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

※ナビゲーションの操作方法については別冊のナビゲーション取扱説明書を参照してください。

本機で利用できるメディアとフォーマットについて

分類	ファイル 形式			メディア			
	ファイル 拡張子	音声形式	映像形式	CD	DVD	USB	SD
オーディオ	.mp3	MP3	—	○	○	○	○
ビデオ	.avi	MP3	MPEG2、MPEG4	○	○	○	○
	.mpg	MP3	MPEG1	○	○	○	○
			MPEG2	○	○	○	○
ピクチャー	.jpeg	—	JPEG	×	×	○	○
	.png	—	PNG	×	×	○	○

○:再生できます ×:再生できません

※音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります

※ビットレート、サンプリングレート、フレームレートによっては正しく再生できない場合があります

※ファイルのエンコードおよびライティングにより、正しく再生できない場合があります

※文字コードによって、表示内容が正しく表示されない場合があります

※フォルダーの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したものとは異なる場合があります

※ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります

仕様

品名	フルセグチューナー内蔵10.1インチメモリーナビゲーション
型番	ANX-Z1
ディスプレイ	10.1型TFT LCD LED/バックライト 解像度1024×600
地上波テレビ受信周波数	470MHz～770MHz
FM/AM受信周波数	FM:76MHz～95MHz AM:522kHz～1629kHz
USBメモリ	最大16GBまで対応 (2.0)
使用電源	DC12V (9.5V-16.5V)
最大出力	40W×4
スピーカーインピータンス	4Ω
動作温度範囲	-10℃～+60℃
AV IN/OUT	AV IN 1系統 AV OUT 2系統
寸法	約178×163.1×100mm
本体重量	約 2.92 Kg
マルチメディア	
Video	AVI/MPEG
Audio	MP3
対応ディスク	DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW/CD-R/CD-RW/CPRM
付属品	
リモコン	○
取扱説明書(本体)	○
取扱説明書(ナビ専用)	○
保証書	○
電源ケーブル	○
外部入出力ケーブル	○
USBケーブル	○ (本体装着ケーブル)
GPSアンテナ	○
GPSアンテナ固定用鉄プレート	○
フィルムアンテナ	○
取り付け用ネジ 8本	○
地図microSDカード	○

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

※性能向上の為に本体ソフトウェアの提供は、弊社ホームページwww.innovativesale.co.jpで公開します。

àZur

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>